

知って安心「退院までの準備ガイドブック」 利用状況アンケート 結果

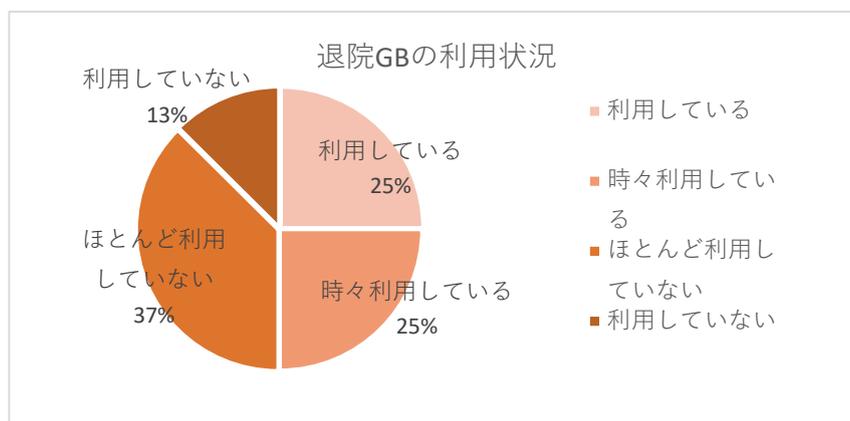
平成29年11月の発行より約2年経過することから、今後より利用しやすいものにしていくため、ガイドブック作成時の協力医療機関等に対し、ガイドブック活用状況のアンケートを実施した。

アンケート送付先：11

回答数：8

問1 退院を控えた方に対して「退院までの準備ガイドブック」を利用していますか。

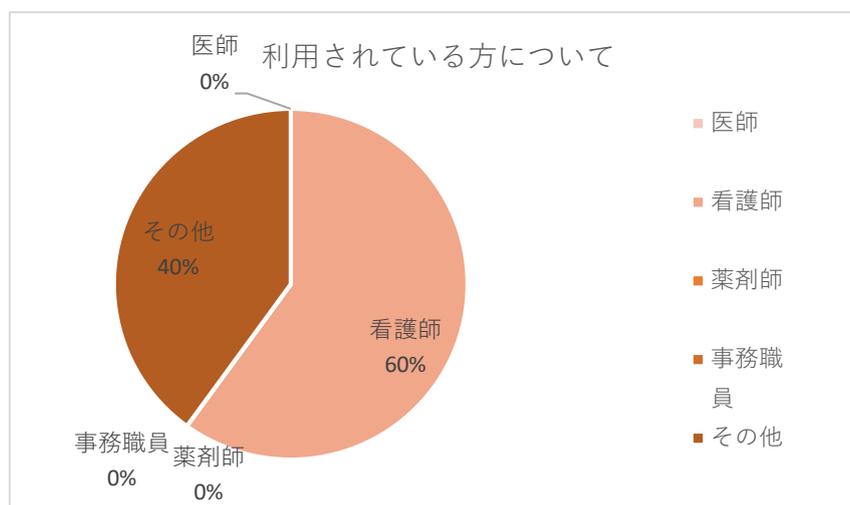
利用している	2
時々利用している	2
ほとんど利用していない	3
利用していない	1
合計	8



問2 「退院までの準備ガイドブック」をどのように利用されていますか。

(1) 利用されている方

医師	0
看護師	3
薬剤師	0
事務職員	0
その他	2
合計	5



(2) どのような時に利用されていますか。(自由記述)

- ・ 入院している本人に代わり、家族が退院準備のため介護保険申請をする相談の際など。
- ・ 相談を受けたとき。
- ・ 患者サポートセンターや病棟で退院支援や相談を受けたとき。
- ・ 退院について不安に思われているようなとき。
- ・ 看護学生への情報提供のツールとして。

問3 利用していない場合、その理由を教えてください。(自由記述)

- ・ 配布できる数がないため、利用者には有益だと思うが、配布できない。
- ・ 該当する患者があまりいない。
- ・ 説明時に利用できる内容ではないため。

- ・ 文字が多すぎる。
- ・ 入院患者の8～9割は支援を必要ではない方なので選別が難しい。
- ・ 自ら読む人が少ないので、こちらから説明するときに活用している。
- ・ 相談職より家族向けのように思う。MSWが説明してくれる内容のため、改めて使う必要がない。
- ・ 退院調整の看護師が病棟に配置されているため、文京区の患者をピックアップしてまで活用していない。

問4 掲載内容について、どのような点を改善すると利用又は活用しやすくなると思いますか。（自由記述）

- ・ 医療機関で活用してもらい、相談時に包括に持ってきてもらえれば、かなり退院連携が取りやすくなると思います。P6の下段の文章を一連の流れとして可視化して欲しい。（高齢者あんしん相談センター 大塚）
- ・ （内容のことはありませんが）病院での退院に向けた説明などは充実していますが、手に残るものはないので是非この冊子で振り返ることができるようなれたらと思います。（高齢者あんしん相談センター 本富士）
- ・ あんしん相談センターの担当住所を記入してほしい。（順天堂大学医学部附属順天堂医院）
- ・ 病気の進行による療養生活の中での医療サービスも載せてほしい。（JCHO 東京新宿メディカルセンター）
- ・ 簡単な事例があると良い（在宅バージョン）。（JCHO 東京新宿メディカルセンター）
- ・ 緊急連絡先を持ち運べるといい。（JCHO 東京新宿メディカルセンター）
- ・ 入院の際に渡してもらおうとよさそう。（高齢者あんしん相談センター 富坂）
- ・ 高齢者あんしん相談センターの担当地域と住所が記載してあると便利、地図も入っているとさらに便利。〇〇地区では分かりにくいです。（がん・感染症センター都立駒込病院）
- ・ 障害者サービスは載っているのですが、介護支援の例の流れがあると便利です。（がん・感染症センター都立駒込病院）
- ・ 在宅医療サービスのシステムももう少し補足があると良いと思います。（がん・感染症センター都立駒込病院）
- ・ 14ページの介護保険申請の流れの「調査・審査」（※）がもう少し具体的だと分かりやすいと思います。
 ※「調査・審査」 （がん・感染症センター都立駒込病院）
 「心身の状況を調査し」→認定調査員が自宅や病院を訪問することが分かるが良いと思います。
 「主治医意見書」→どのような流れで準備するのかが分かるが良い。
- ・ 内容的には良いと思っています。活用するためには医療者が意識的に活用して説明するようになっていくことが必要だと思います。活用を推進するには外来や入院支援のところで活用すると（配布）良いと思いました。
 （東京医科歯科大学医学部附属病院）

問5 退院患者から冊子について意見・問い合わせが寄せられていたら教えてください。（自由記述）

なし